

5月21, 22日 1年生 大自然の中で大きく成長した乗鞍研修

研修当日の朝まで、警報が発令されてもおかしくないほど強い雨が降っていました。そんな状況での出発でした。しかし、乗鞍に着く頃には雨は上がり、青空が顔をのぞかせていました。

標高 1510 メートルにある乗鞍青少年の家の周りには、瑞浪とは比べものにならない大きな大自然。四方には遠くまで続く山並みが続いています。風のそよぐ音と鳥たちの鳴き声が優しく響きます。

そんな中で始まった最初の活動が「兜山登山」。全員が声を掛け合って、学級単位で登り切りました。雨の影響で多少道がぬかるんでいましたが、全員無事に下山しました。しかし、ジャージに泥汚れが付いている生徒がちらほらと。それも頑張った証拠です。



夜はキャンプファイヤーを行いました。誓詞者の生徒が火のついたトーチを掲げ、友情、自立、健康についての誓いを述べました。レクレーションも盛り上がり、炎の周りでは楽しそうな声が響きました。

二日目は高山での班別行動。スタート地点の高山陣屋では、全員で施設の説明を聞きました。どの生徒も真剣に耳を傾けました。説明をしてくださった方も気持ちよく話ができたと喜んでくださいました。

その後、実際に班別研修がスタート。それぞれに立てた計画に従って、高山を回りました。街中には、立ち止まって地図で確認したり、目的地に向かって班全員で走ったりする生徒の姿がたくさんありました。

今回の研修では、「あいさつ」「時間」そして「マナー」の三つを約束としようとして級長会から提案がありました。満点とはいかないまでも、十分合格点に値する頑張りを1年生は見せました。さあ、来年は日間賀島研修！一年後が楽しみです！



